## タイトル

著者 名

序

ここには序の内容が入る。

				第二章			第一章	序 :
漢文 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	注釈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	特殊文字など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	文字装飾 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	便利な命令・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	第二の節の見出し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	最初の節の見出し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	最初の章 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
•	•	•	•	•	•	•	•	•

 $9 \quad 9 \quad 8 \quad 8 \quad 8 \quad 6 \quad 6 \quad 6 \quad 2$ 

#### 目次

# 第一章 最初の章

の文章が入る。 ここは最初の章の冒頭の文章が入る。ここは最初の章の冒頭

### 最初の節の見出し

る。ここは最初の節の文章が入る。 る。ここは最初の節の文章が入る。ここは最初の節の文章が入 ここは最初の節の文章が入る。ここは最初の節の文章が入

### 第二の節の見出し

る。ここは第二の節の文章が入る。ここは第二の節の文章が入 ここは第二の節の文章が入る。ここは第二の節の文章が入

#### 第二章 便利な命令

傍点・圏点・傍線文字装飾

特殊文字など

参加者は12人だった。 「こらく」「どれぐく」

注釈

脚注(1)を表示する。

割注(文章である。)を表示する。後注(2)を表示する。

(2) これが後注の文章である。

ルまダッカニー 一義」也。 実がまりまり。

(1) 脚注。